

うさぎだよりはゴッポともしびボランニアア振興財団の助成を受けて印刷しています。

うさぎだより

2023年
5月号
うさぎだより



5月



今年はいくつのお店のかわもちを食べ比べましたー！
やはりおやの味は美味しいね。

長いながーいゴールデンウィークでは、前半は家にじっとしているのがもったいないくらい五月晴れ。後半は強い風と雨でびっくりしたね。石川県の地震も驚きました。能登の地域が大地震が走っているの知れませんが。被害がこれ以上広がらないことを祈ります。

さて連休が明けてコロナは種類の扱いと2.0、インフルエンザと同様に扱われました。感染者はゼロではないけれど、街でもマスクをはずして歩く人を見かける場に「何年かマスクの生活をしていましたから、急にはずすには何か抵抗があるかな...」マスクをしなければならなかった時は、なんて不自由なんでしょう。うっとおしいと思いつたのに、習慣で不思議です。

5種類にはなりましたが、文庫の時は今しばらくマスクを着用して絵本を読み聞かす。少くも顔を全部出して、表情がわかる過ごし方ができまあうに？

4月の出張 おはなし会の 報告

4/19 東垂水保育園

もうすっかりおなじみの保育園です。前回おじやましたあとお園長先生やうさぎも大喜びメッセージとおはなし会のあとの園児の姿を写真で送っていただきました。子どもたちは多岐の遊びのやまのからからどん、が強く印象に残ったようで、子どもたち自らがからからどんをペープサートや人形劇として舞台を作って劇場のために、室内や外遊びしてくれました。



さらさらわと若葉がゆれる初夏の風
草も花も嬉しそう



JR西明石駅から新快速で守山駅まで約1時間40分。守山駅から佐川美術館までバスで30分。
たのしい遠い道のりの美術館で、佐川急便倉庫40周年を記念して1988年3月に開館。琵琶湖を望む美しい自然に囲まれた近江守山にあり。敷地の大部分が水庭に浮かぶように建てられていて、水面が屋根裏にキラキラ反射して、入館する前からワクワク。また「水庭に浮かぶ美術館」日本画家の平山郁夫氏と彫刻家の佐藤忠良氏、そして陶芸家の五代楽吉左衛門氏の常設展示があります。

今回は山下清氏の生誕100年を記念して約190点を展示。貼り絵、油彩、水彩画、ペン画、陶磁器など初公開された作品もあり、あらためて山下清の天真的な姿を堪能してきました。

幼い頃からいじめにあっていた山下清は、のちに発達障害と診断され、小学校にも馴染めなかったそうです。その後養護学校へ通っていましたが、ある日突然放浪の旅人。全国各地を歩いて訪れ、そこで印象に残った場面を記憶した情景を貼り絵やペン画で表現。スケッチや写真に撮っていたわけではありませんが、細やかな技法で再現しめら個性豊かな作品を次々と制作していったのです。ヨーロッパへ招かれた日時に描いた作品も今回の展示の中にあり、とても素晴らしいものでした。山下清の作品を観て行ってみたくありませんか。裸果の大將として映画化もされました。

49歳の若さで生涯を閉じましたが、その表現化された作品はいつまでも私たちの心に多岐にわたることを。山下清が母に宛てた便りの中に「ぼくは放浪をしている日寄 絵を描くために歩き回っているのではなく きれいな景色やめずらい物を見るのが好きで歩いている 貼り絵は帰ってからゆっくり思い出して描く 純粋な思いのま 表現 していたり。作品ごとに美術館から添えられているメッセージもとても良かったです。

山下清の世界をたっぷり感じることができるお楽しみは、楽しい一日を過ごしてきました。次回は昆虫展がおすすめです。おちん守山で美味しいランチもできました。おや村のお店でピザとパスタ♪♪行きたいところに行けて好きなものを観てリフレッシュ!! 充電完了です♡

6月の開室日... 2日(金) 16日(金)

ホームページアドレス usagi-bunko.com

うさぎ文庫の電話番号924-7234 (菊川自宅FAX共)